

らいいづま

見守りが必要な高齢者宅を
回るためだ。「少なくとも
月に1度は訪ねる。それ以
外にも時間があるときや用
事のついでに気になる家には
顔を出す」

町の高齢化率(65歳以上
の人の割合)は37%(20
11年4月時点)。どの高
齢者をどのように見守るか
考えるのは、民生委員の大
切な役割だ。対策を練る参
考となっているのが「安心
・安全見守り台帳」だ。

友人関係も記録

台帳は05年に津野町社会
福祉協議会が中心となり始
めた。見守りが必要な高
齢者の実情を本人の承諾を得
たうえで事細かに記録して
いる。家族など緊急時の連
絡先や主治医、通院日、持
病、服用薬はごく基本。付
き合いの深い友人の氏名・
連絡先、日ごろよく行く場
所・出掛ける曜日なども含
む。自宅の間取り図と就寝
場所も手書きで記す。地震
や土砂崩れなどで自宅が被
災したときに捜索の目安と
するためだ。

白石さんの担当区域では
高齢者12人が登録。「留守
でも台帳をみれば通院で不
在なのか、友人宅にお茶を
飲みに出掛けているのかな
ど見当が付く。どんな点に
気を付ければよいか分か

災害や急病への備え

高齢者 どう見守る？



津野町は年1回、見守りが必要そうな高
齢者宅を一齐に訪問、台帳を更新する

研究所によると、10年の一
般世帯数は約5029万世
帯。このうち世帯主が65歳
以上の高齢世帯は約156
8万世帯に上る。今後もしも

こまめな訪問、担い手足りず

らに増える見通しで、高
齢者を地域でいかに支える
か、都市部でも知恵を絞る。
スカイツリーの建設が進
め、困っていることがあ
れば利用可能な行政サービ
スを紹介する。継続的な見
守りが必要な場合はボラン
ティアを手配し、週1回、
月1回程度の定期的な訪問
を繰り返す」と話す。

相談室開設のきっかけは
08年度に区が実施した一人
暮らし高齢者実態調査だ。
区内の独居高齢者の5・1
%が近隣や親族と一切交流
がなかった。区高齢者福祉
課は「高齢化率は20%強。
地方ほど高くはないが、都
市部は近所付き合いが希薄

れば利用可能な行政サービ
スを紹介する。継続的な見
守りが必要な場合はボラン
ティアを手配し、週1回、
月1回程度の定期的な訪問
を繰り返す」と話す。

シングル女性、独自にネット

見守りに知恵を絞るのは
行政だけではない。シニア
社会学会は専用の情報端末
を高齢者宅に設置し、ボラ
ンティアが生活を見守る実
用実験に今年2月まで
の3カ月

問、東京都江戸川区の集合
住宅で取り組んだ。
システムは情報環境デザ
イン研究所(東京都文京区)
が開発。操作や文字入力
は「急速な高齢化を乗り切
るには先端技術が欠かせな

相互で安否確認する独自
の災害ネットを運営する。
加入者は約200人。自
宅に近い4〜5人でグルー
プをつくり、連絡先などを
共有する。東日本大震災当
と強調する。

日、大きな被害を受けたメ
ンバーはいなかったが、止
まった電車で閉じ込められ
たり、徒歩で帰宅しなければ
ならなくなったりした人
がいた。互いに携帯メール
で励まし合い、不安な状況
を乗り切ったという。

(編集委員 石塚由紀夫)